

儀 畠

題字は社宝伝崇徳天皇ご宸筆
勅額の文字を模したものです。



神宮撤下御装束神宝御下賜奉告祭

先ずもって、この四月十四日に発生した熊本地震の犠牲となられた多くの御魂に衷心より哀悼の誠を捧げます。また被災された皆様に心よりのお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念いたします。

さて伊勢の神宮では、平成二十五年秋に執り行われた二十年に一度の遷宮 第六十二回式年遷宮より別宮に至るまでのすべての御遷御の完遂を受けて、殿内に収められていた御神宝・御装束が全国の神社に下附されることとなり、愛媛県では当社がその栄に浴しました。神宮様の特別なご配慮をもって下附賜りました御神宝は、

皇大神宮御神宝

革御鞆かわおんゆき

皇大神宮別宮

伊雑宮御神宝

杵御弓あざおんゆみ

皇大神宮別宮

伊雑宮御神宝

御鉾おたま

皇大神宮別宮

風日祈宮御神宝

銅黒造御太刀

杵柄

の四点です。

昨年の暮れも押し迫った十二月二十五日の神宮司庁での御下附式には、明比幹夫筆頭常務総代、一色信之鬼頭会長と共に参列しました。有り難くも鷹司大宮司様から謹んで目録を拝受し、石清水八幡宮宮司、神社本庁田中恆清総長様が代表謝辞を述べられた後、内宮御垣内参拝、続いて神楽殿での神楽奉納を行い、御下附式は終了しました。

明けて平成二十八年一月一日午前六時からの歳旦祭に併せて、ご神前祝詞舎に御神宝を奉供の上神宮撤下御装束神宝ご下賜奉告祭を斎行しました。洵に光栄の極みです。

爾来、祈年祭や春祭りといった機会を捉えて

ご参列・ご参拝の皆様にご覧いただいてまいりましたが、今後も、新嘗祭、歳旦祭などの祭典時には祝詞舎に奉供いたしますので、氏子の皆様方には是非ともお運びいただきたく思います。現在、当社は白木秀典奉賛会会長の下、御創祀一八八〇年の記念事業を進めておりますが、当事業の一環として御神宝の保存管理にも取り組んでまいり所存です。

季節はこれから本格的な夏に向かいます。そして旧暦六月十五日（七月十八日）には加茂川の中にある加茂町の祭場にて夏越祭を斎行いたします。

夏越の祭に因んでは『水無月の夏越の祓する人は』の歌がよく知られるところですが、今回はもう一首ご紹介したいと思います。

風そよぐ ならの小川の 夕ぐれは みそぎぞ夏の しるしなりける

これは百人一首の中にある従二位家隆（藤原家隆）の有名な和歌で、風がそよそよと吹いて秋の気配を感じさせる中、京都上賀茂神社の境内を流れている御手洗川（ならの小川）で六月三十日に行われる祓の行事こそ今はまだ夏である証だなあ というような意味になります。

当時の日の繰り方は旧暦によるため現在とは一月程のズレがあり、七月は既に秋とされてしまったので、この歌は夏の終わりの情景を詠まれた歌といえるでしょう。

加茂と賀茂の地名で結ばれる当地と京都の繋がりについてはまた次の機会にお話しさせていただきます。七月十八日の夏越祭には、我が郷土西条の 風そよぐ加茂川原の夕ぐれへ、ぜひともご家族お揃いでお参り下さいますようお願い申し上げます。

宮 司 堀 川 修 巧のぶ よし

三、愛媛県外に出ているダンジリを訪ねる ①

いよ西条だんじり祭り編著者 村上 俊行

まず伊曾乃神社祭礼絵巻に出ているだんじりで現在無くなっている芸だんじりについて各地を訪ねてみる。

四国では東かがわ地方で過去に出ていたとのことであるが、現在では唯一東かがわ市白鳥町白鳥神社祭礼に一基のみ復活して出ている。

子供歌舞伎等を演じる芸ダンジリは、滋賀県、岐阜県、埼玉県、富山県、石川県、京都府等の祭礼に出ている。

滋賀県長浜市八幡神社に出る曳山は豪華で台数も多く(十余台)全国を代表する芸ダンジリ祭りと思える。米原市湯谷神社にも出る。



長浜八幡神社の曳山



白鳥神社の芸屋台



揖斐川町の車山



垂井町の車山

岐阜県では不破郡垂井町、揖斐郡揖斐川町が芸ダンジリ祭りであり、飛騨市古川祭にも出る。



秩父神社の屋台

埼玉県秩父市秩父神社に出る屋台、笠鉦は重量が六トンから十二トンもありその豪華さは秩父夜祭として有名であるが毎年の当番制で子供歌舞伎を演じる。(次号に 続く)

表彰・感謝状・受賞者御芳名

年 番 表 彰

(神戸地区)

氏子総代 尾野 和夫 様
 氏子総代 河村 勝三 様
 氏子総代 谷崎 昭三 様
 氏子総代 茨木 哲三 様

神社功労者表彰

伊藤 勇 様
 加藤 武司 様

鬼頭永年勤続表彰(二〇年)

総取締 坂上 譲二 様
 取 締 松本 秀朗 様

鬼頭感謝状(一〇年)

副取締格 安永 裕治 様
 安永 裕治 様
 矢野 恵三 様
 越智 哲夫 様
 菅 晋策 様

感謝状

明比 昭治 様

神社本庁総裁功績状

敬神功労章(有功章)

責任役員 三浦 仁 様
 責任役員 小野 昭雄 様

鬼頭委嘱状

村上 文治 様

御奉仕御礼

正月前の境内清掃奉仕

神戸長寿会、神拝神友会の皆様

神門前の大注連縄奉製

神戸長寿会の皆様

春祭前の境内清掃奉仕

大町福寿会、神戸長寿会、神拝神友会の皆様

春祭餅つき奉仕

神戸長寿会の皆様

春祭餅包み奉仕

明比徳子様ほか有志の皆様

下福古墳清掃奉仕

西條史談会有志の皆様

ご多忙の中、御尽力を賜り洵にありがとうございます。ごございました。ご芳名を記して厚く御礼申し上げます。

社頭点描

お正月

好天に恵まれ、多数の参拝者で賑わいました。恒例の田宮流居合術、荒川獅子舞の奉納もありました。

紀元祭

神武天皇二六〇〇年式年祭でもあり、参列多数の中執り行われました。

開運春祭

桜の花も満開となった境内で、本年も茶筥供養や子供だんじりの奉納が行われました。

崇敬者大祭

崇敬会主催により、山口県の山口鷲流狂言保存会の皆様により狂言の奉納を戴きました。

当社初の行事でありましたが、予想以上の方々が観覧にお越し下さりました。



境内整備の状況

毎月第三日曜日を定期日として、境内整備のみならず奉賛事業に関連する部分も実
施戴き、多大なご貢献を戴いております。



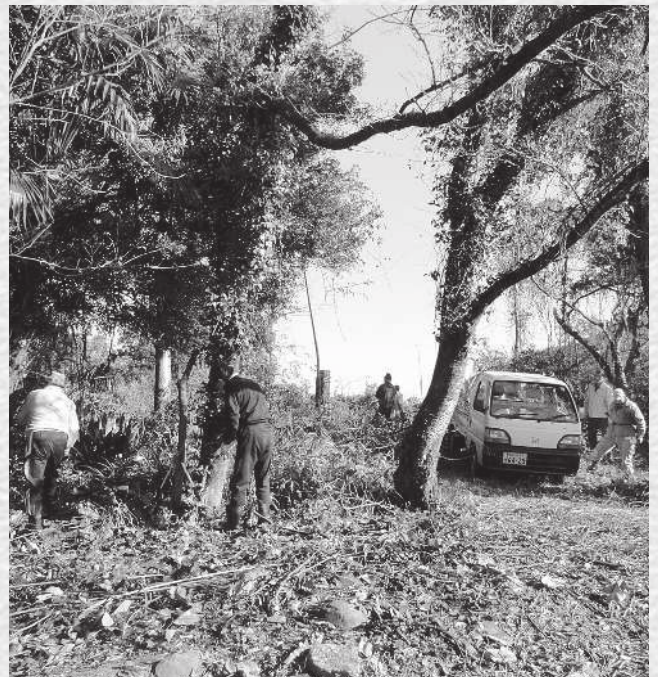
ご子孫による灯笼清掃奉仕

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--------|----------|----------|----------|--------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|--------|----------|----------|----------|------------|
| ほか有志の皆様 | 三浦 仁 様 | 矢野 彰 良 様 | 矢野 素 近 様 | 内藤 秀 夫 様 | 高橋 稔 様 | 高木 豊 様 | 井上 博 司 様 | 大澤 勝 幸 様 | 加藤 武 司 様 | 矢野 幸 雄 様 | 日野 信 二 様 | 尾野 和 夫 様 | 伊藤 勇 様 | 浅田 尚 夫 様 | 浅田 秀 隆 様 | 明比 幹 夫 様 | 伊曾乃氏子神拝会 様 |
| | | | | | | | | | | | | | | ご一家 | ご一家 | | |

奉仕作業者ご芳名 (順不同)

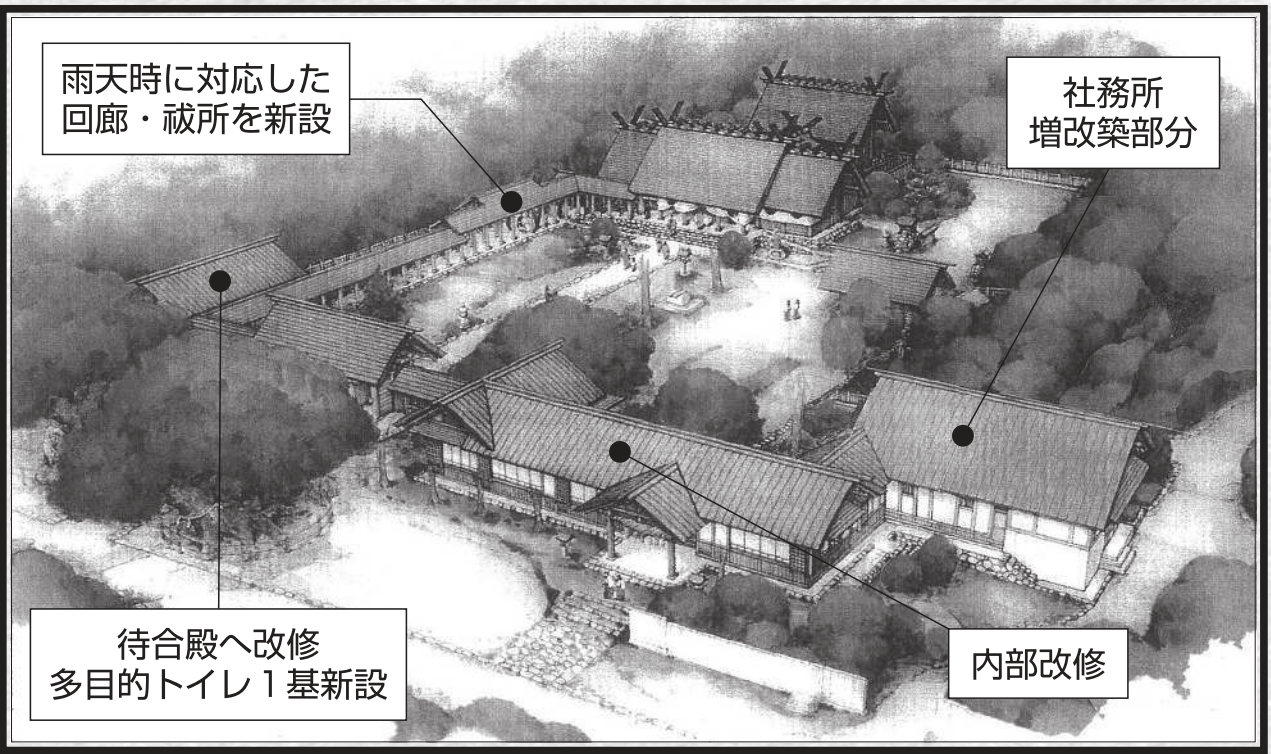


境内剪定奉仕



境内美化奉仕

御創祀一八八〇年(平成二十九年)記念事業奉賛会ご寄付のお願い



待合殿・回廊・社務所増改築完成予想図

事業概要

- 一、待合殿・回廊建設
授与所を待合殿に改修し、多目的トイレを1基増設します。
また、回廊を新設し、祓所を併設致します。
- 二、社務所増改築
社務所内部の改修と、部分的な増改築を致します。
- 三、その他関連工事

概算費用

- 一、外部(土木・外構)関係工事 一〇〇〇万円
- 二、待合殿・回廊建設工事 三〇〇〇万円
- 三、社務所増改築工事 六〇〇〇万円
- 四、建設工事関係諸経費 一〇〇〇万円
- 五、関連費用 四〇〇〇万円
- 合計 一億五〇〇〇万円

氏子総代様・お世話人様を中心に、奉賛活動をお願い致しております。

この奉賛事業にご理解とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

伊曾乃神社御創祀一八八〇年記念事業奉賛会

事務局 (伊曾乃会館内)

(九時～十五時 平日休みあり)

電話 〇八九七(四七)七六九〇

社務所

電話 〇八九七(五五)二二四二

会長

白木 秀典

副会長 (総務担当)

明比 幹夫

副会長 (財務担当)

小野 昭雄

副会長 (建設担当)

三浦 仁

副会長 (財務担当)

戸田孝一郎

副会長 (建設担当)

矢野 幸雄

理事 明比 昭治

安藤 勝俊

尾野 和夫

伊藤 勇

木藤 清

伊藤 道雄

松本 一夫

黒川 清美

安永 省一

大澤 勝幸

西山 多一

高瀬 康雄

渡邊 博毅

日野 信二

加藤 武司

矢野 胤勝

近藤 清政

一色 鉄馬

宮司

堀川 修巧

奉賛会現状報告

待合殿・回廊工事 進捗状況 五月末現在

五月九日より本格的に工事が着工され、現在、作業車通行道の碎石敷き、授与所改装のための解体、回廊建設のための整地・伐根、丁張り、排水路工事、トイレ改装のための部分解体が行われています。



授与所内部解体



整地伐根



トイレ改修解体



排水路工事

敬神婦人会通信

常日頃より、伊曾乃神社敬神婦人会に対してご支援・ご協力をいただき、ありがとうございます。会員の皆様や氏子の皆様、神社関係者の皆様のご協力やご支援によって、敬神婦人会が運営されていることを、心より感謝申し上げます。

平成二十七年十一月九日

敬神婦人会としてはじめて、大三島への研修旅行を実施いたしました。



初めての研修旅行。たくさんの方が参加してくれら：と思いましたが、四十名の会員さんが参加いたしました。

大山祇神社での正式参拝ののち、伯方の塩工場の見学を行いました。

初めての研修旅行では、バスの中でもおしゃべりが絶えず、会員同士の親睦を深める事ができ、楽しい思い出をつくる事ができました。

敬神婦人会として、神社を通じて、会員の方々の親睦を深めるというのが目的の一つです。この目的が達成できたのではないかと思っています。一月二十五日の初天神祭・筆供養の時には、参拝者の方々に甘酒をふるまい、また学業成就を込

めて、天満宮の梅を使った、婦人会手作りの梅干しの販売も行いました。

婦人会特製の甘酒は、麴から作っているのですが、アルコールがなく、子供からお年寄りまで、またお酒が苦手な方やドライバーの方にも安心して飲むことができました。当日は、地元のケーブルテレビ

からの取材を受け、恥ずかしい気持ちになりましたが、カメラの前で敬神婦人会のPRを行いました。

二月十一日の紀元祭では、小豆粥のふるまいを行いました。

昨年同様、小豆粥はとても好評で、温かいお粥を食べて、参拝者の皆様に温まっ

ていたいただきました。小豆粥に併せて、婦人会手作りの漬物や佃煮のふるまいも行い、とても好評のうちになりました。参拝者の方から、「また来年もお願いします」「次も楽しみにしています」というお言葉をいただき、役員・会員一同、嬉しい気持ちになりました。

五月五日の子供の日。



伊曾乃神社の菖蒲祭に役員・会員と参列をいたしました。昨年同様、今年も祭典のお手伝いをさせていただきました。昨年の貴重な体験を会員に話したところ、昨年よりたくさんの方が祭典に参列いたしました。今回は、いままでの祭典参列とは違い、祭典奉仕ということで、とても緊張をしましたが、少し伊曾乃神社の大神様に近づくことができ、大神様の為の事ができたように感じています。いただいた菖蒲を持ち帰り、自宅で菖蒲湯として楽しませていただきました。菖蒲祭は毎年行われているので、ぜひ来年はもっとたくさんの方々が参列していただけたらと思います。

また今後は、九月に開催される「伊勢音頭フェスティバル」に敬神婦人会も参加する予定です。昨年とても好評だった桜餅の販売などを考えております。ぜひ会員様もご参加いただき、また当日はぜひ伊曾乃神社へお参りにきていただけたらと思っております。

まだまだ手探りの状態で活動をしている敬神婦人会ですが、会員の皆さんと協力しながら、より一層充実した会にしていきたいと考えております。

これからもご支援ご協力を宜しく願っています。



屋台・みこし関係者の 皆様へお知らせいたします

平成二十八年の年番は神拝地区です。

本年は、神拝地区（常務総代 三浦 仁氏）です。宜しくお願い致します。

だんじり・みこし 奉納願

七月中旬ごろより、各町内の氏子総代様へ郵送致しますので、内容をよく確認されて期限内に提出して下さい。

なお、氏子総代様は運行責任者（総取締）へお渡し戴きますよう、お願い申し上げます。

提出期限 八月三十一日（当日消印有効）

記載内容 次のとおり

- 一、正確な「だんじり」または、「みこし」の名称
- 二、責任者の「住所」、「氏名」、「捺印」
- 三、提出年月日または、投函年月日

留意事項

- 一、記載漏れや期限外提出は、受付できません。
- 二、氏子総代会その他、関係機関へ資料として用います。
- 三、「だんじり」・「みこし」の記載は例年通りダウンロード。

鬼頭・屋台総代総会



奉納届に記載された運行責任者へ案内状を郵送致します。

日 時 九月四日（日）

午後六時三〇分受付開始

午後七時〇〇分受付終了、開会

会 場 西条市総合文化会館

事 始 式



恒例の事始式を次のとおり斎行致しますので、各町内揃いの装束でご参列ください。

なお、祭典後に鬼頭会より番号札引換木札と、昇夫番号札をお渡しします。

日 時 十月八日（土）

午後二時

午後三時

昇夫守り

例大祭の昇夫用お守りです。ご希望の方は次の要領でお申し込み下さい。



名前入り

- 電話申込不可（専用の申込書に限る）
- 受付期間 七月二日～九月十一日
- 初穂料 一体 八〇〇円
- *お守りですので、「愛称」や「姓」のみ、「名」のみは受付しません。

名前なし

- 受付期間 七月一日～十月十五日
- 初穂料 一体 五〇〇円

共通事項

- 頒布開始は、十月一日正午より。
- 奉製に数週間程度を要します。お早めにお申し込み下さい。
- 申込用紙はホームページからダウンロードできます。

祭事暦

(平成)二十八年六月
〜平成二十八年十一月

六月	一日	朔日祭	午前九時
	十五日	古神札焼納祭	午前八時三十分
		月次祭	午前九時
七月	三十日	大祓式	午後五時
	一日	朔日祭	午前九時
	十五日	月次祭	午前九時
	十八日	夏越祭	夕刻
八月	一日	朔日祭	午前九時
	十五日	月次祭	午前九時
	十七日	瑞枝神社例祭	午前八時
	下旬	秋季氏子総代会	(後日通知)
九月	一日	朔日祭	午前九時
	四日	鬼頭・屋台総代總會	午後七時
	十五日	月次祭	午前九時
	二十二日	秋季皇霊祭遙拝式	午前九時
		物故神職慰霊祭	午後二時
十月	一日	朔日祭 並 昇夫守入魂祭	午前十時
	八日	事始式	午後二時・午後三時
	十四日	宵宮祭	午後五時
	十五日	例大祭	午前四時三十分
		神幸祭	終日
	十六日	御旅所祭	午前四時五十分
		神幸祭	終日
		還御祭	午後六時
		神嘗奉祝祭	午前九時
十一月	一日	朔日祭	午前十時
	三日	明治祭	午前九時
	十五日	月次祭 並 七五三祈請祭	午前九時
	二十三日	新嘗祭	午前九時

本年は 7月18日 (月・海の日) です

夏越祭

旧暦六月十五日



- ・場所 加茂川橋下流 右岸(加茂町)
- ・時刻 午後六時頃より午後九時頃まで
- *当日は、以下の内容で信号煙火を打ち上げます。

- ・祭典実施報知 午前八時頃
- ・御神輿本社発 午後五時頃
- ・御神輿斎場着 午後六時頃
- 夏休み直前の祝日に行われます。 満月の下、夕涼みをかねてお参り下さい!

新嘗祭 並 大麻頒布始祭



- ・祭典 十一月二十三日(水) 勤労感謝の日
- ・時間 午前九時より

秋の稔に感謝するとともに、新しい伊勢の神宮並びに伊曾乃神社の大麻を頒布し始めることを奉告する祭典です。氏子総代の皆様はご参列ください。

ご あ ん な い

ご祈禱のご案内

年間をとおして、各種祈禱を受け付けております。なお、日程がお決まりの場合は電話でお問い合わせ下さい。祭典・結婚式等の予定をお知らせすることができ、待ち時間を短縮することが可能です。

初宮詣では氏神さままで！

生まれてきたお子様の健やかな成長を祈る大切な人生儀礼です。



氏神さまは氏子の親ともいえるべき神様です。家族そろって親神様にお参りしましょう。

【ご家族や個人の主なご祈禱】

安産・初宮詣（お宮参り）・七五三・厄除年賀
交通安全・身体健全・合格祈願 など

始まりは伊予のお伊勢さんで！

東予地方の国土開発の成功を祈願し、武國凝別命により伊勢の神宮（内宮）の天照大御神をお祀りされたことから、「伊予のお伊勢さん」と古くから親しまれています。企業の皆様からの事業の始まりに際して、安全祈願等も多数お受け致しております。

【企業や団体の主なご祈禱】

- ★工事安全
（施工前に工事の無事完遂を祈願します）
- ★作業安全
（作業前に関係者の無事を祈願します）
- ★事業安全
（新規事業開発などの無事成功を祈願します）
- ★事業繁栄
（様々な業務分野の継続成功を祈願します）
- ★商売繁昌
（商業の成功を祈願します） など

出張祭典のご案内

神社で祈禱を行わず、ご希望するところで祭典を行うことも可能です。

予め、電話でご予約をお願い致します。
（概ね一カ月前までにご予約されますことをお勧めします。）

おもな出張祭典

【個人の方】

地鎮祭・新築清祓・井戸祓・解体清祓・邸内神社の祭典

【企業の方】

地鎮祭・竣工祭・安全祈願祭・企業神社の祭典

編集後記

平成二十八年のお正月はお天気に恵まれ、たくさんの方が参拝に来られました。一月一日には、神宮より下附されました御装束御神宝を奉供し、参拝者の方々にもご覧になっていただきました。

お正月に貴重な御神宝を拝見することができ、ありがたい気持ちになって新年を迎えることができたのではないのでしょうか。

一年の始まりは氏神様へのお参りから・・・伊曾乃神社では毎月一日には「朔日祭」を行っており、一ヶ月を元気に過ごせるようにと「朔日まいり」をされる方も多いです。

氏神様にお参りをして、毎日を楽しく元気に気持ちよく過ごしていただけたらと思います。

（愛）

発行

伊曾乃神社社務所
〒793-0054 西条市中野甲一六四九
電話 ○八九七・五五・二一四二
FAX ○八九七・五六・四七六二
HP <http://www.isonojinja.or.jp/>

写真協力/ハルキフオート